

第19回多摩市自治推進委員会 要点記録

平成22年12月13日(月) 18:30～21:00

多摩市役所3階 特別会議室

出席者：江尻委員長、磯崎副委員長、大木委員、金委員、益子委員、横倉委員

事務局：企画政策部長、企画課長、特命事項担当課長、企画調整担当主査、企画課主事

審議：自治推進の担い手について

委員 池田市、名古屋市の視察に行った報告をお願いしたい。

資料に基づき事務局より説明・質疑応答を行った。

委員 報告書の策定について、スケジュールを決めて、まとめの骨子を決めたい。スケジュールとしては、2月に市長と再度意見交換を行う。これをどのように報告書の中で活かすか。その内容にもよるが、考えていきたい。6月には第4期への申し送りを行うので、5月には冊子ができている状態にしたい。今年度いっぱいには書き終えて、4月に見直したい。

委員 行政評価報告書については、どうなっているのか。

事務局 現在、作成を始めているが、いつ出せるかはわからない。時間がない場合は、事前に読んできてもらい、意見をもらう形でも良いかと考えている。例年通り1月になるかはわからない。

委員 1月に各委員のレジメを持ち寄る。A4に1枚程度で骨子を考える。2月にA4に2～3枚で内容がわかるもの、3月に8～9割完成したもの、4月に完成ということで5月に間に合うかと思う。

委員 ある程度各委員にイメージはあると思うので、各委員がたたき台を出して、それをもとに議論を行ってはどうか。

委員 4～5章になるかと考えている。第1章でコミュニティ自治の重要性となぜこのテーマを取り上げたかについて書く。第2章で多摩市のコミュニティ組織の現状と課題について書く。この部分については昨年度から議論してきた部分になる。第3章で他自治体のコミュニティ組織の状況について書く。そして、最終章で今後の多摩市のコミュニティ自治のあり方を提言をするという構成ではどうか。提言の中に基本的な方向と具体的仕組みの提案がある。資料編を最後につけても良いのではないか。3番目の部分は資料で良いかもしれない。海外の事例も研究としてはありえなくもないが、そこまで広げなくても日本の中での状況がわかれば良いかと思う。

委員 第3章は事務局の視察報告で置き換えられるのではないか。提言は、自治推進委員会として出すものではあるが、市長の意向を受けて行った方が良いのではないか。その点について委員のみなさんの意見を伺いたい。

委員 他市の事例は自治推進委員会で報告を受けたことで、自治推進委員会で行ったことではないので、どのように扱うかは検討の余地がある。

委員 視察概要は資料編に入れて、そこから抜粋して委員が書くということか。

委員 4章の今後の多摩市のコミュニティ自治のあり方の部分に入れてしまっただろうか。今までの議論の中で出たことを項目立てしながら、人のこと、組織の作り方などで分担して、その後に提言があると自治推進委員会の議論が深まって、最終的なまとめが出たということになるのではないか。ヒアリングは委員が共通で行った事項なので、自分の団体や視察の報告を踏まえて書いていけば良い。ヒアリングが組織を軸とした縦軸とすれば、それをテーマごとに分けて横にさしていくのが4章かと思う。

委員 コミュニティ自治の検討事項（論点）で組織、委員の位置づけ、報酬、役割、業務の中身、事務局、人材養成（調達）などを3章の他自治体のコミュニティ組織の状況についての代わりに入れるのが良いのかもしれない。そして、そこを分担して、第4章「今後の多摩市のコミュニティ自治のあり方」にいくのが良いかと思う。他市の事例等情動的なものは資料編ということで良いか。そうすると、問題点、コミュニティ自治の検討課題、提言の3部構成になる。

委員 コミュニティ自治の検討課題の部分で現状と課題を述べる。今は組織別、主体別に出ているので、それを項目別に分類したい。たとえば、人材の問題についてそれぞれの主体はどのように工夫しているか。限界があるとしたら、どのようにすべきかということそれぞれの担当が書き、それを持ち寄って議論をしたらどうか。1章は、なぜコミュニティ自治を選んだのかという第2回、3回目の委員会をまとめたか部分になる。

委員 項目別に深入りしすぎると本格的な研究となってしまうので、結論が出なくなる可能性がある。適度に対応するのが良いと思う。

委員 ヒアリングから見てきたまとめを委員長が担当し、2章の終わりに入れる。共通する問題を出して、多摩市でのコミュニティの検討について、ボランティアの活動がどこまでが有効なのかなど、何が必要かが見えてくると思う。

委員 役割やどのような権限を持つのかということもある。

委員 4章の今後の多摩市のコミュニティ自治のあり方では、地域委員会のようなものを作るのか、作らないとするのか、両論併記にするのか、まとめ方の選択肢はいろいろある。最後の提言としてどのように出していくかはポイントになってくる。そこについても念頭に置いて話をしていきたい。

委員 以前は、既存の組織が緩やかに連携する形が良いのではないかと提言する方向だったと思うが、視察の話を聞くと権限を付与するものも可能ではないかという考えも出てきた。

委員 委員会としては、自治推進の観点で提言を行うことになる。自治を推進するためには、地域委員会は是か非かという観点から考えるべきかと思う。

委員 特定の地域を連想せず、架空でシミュレーションをしても面白いかもしれない。良いところを組み合わせで理想の形を作ってみてはどうか。

委員 研究報告ではそのようなものもある。しかし、委員会としてはここ数年で行える中期的課題への提言ではないか。ただ、障害はかなりあるので、思い切った提言をするのも良いかと思う。独立した組織を作るのかそれとも、既存団体の横の調整を取る組織なのかということについて考えたい。独立した方が役割ははっきりするし、連絡調整の組織に予算提案権を与えるのは難しい。ただ、既存の組織のモチベーションの低

下や強みが活かせなくなることも考えられる。

委員 必要な時だけ連携をするか、しっかりした組織を作るのかという結論が今まで出てこなかった。

委員 前回の委員会では、連絡調整組織を想定していたと思う。これを独立させて委員会や協議会のようなものにするのかということだと思う。

委員 コミュニティ自治を進めるためにはどちらがうまくいくかを考える上で、多摩市に新たな連絡調整の組織ができたとして、機能するか。もしくは名古屋市のようにしっかりした組織ができたとして、機能するかを考えると見えてくるかと思う。多摩市では必要なときに組織間で連携できるように、それをつなぐ組織は必要かと思う。困ったときに連携先を探せる組織と場が必要である。多摩市にはコミュニティセンターがあるので、「場」としてはコミュニティセンターが良いかと思う。

委員 自治推進の観点から、しっかりした提言をしたい。市はコミュニティセンター発足時に地域での役割に関して文書を含めて色々アドバイスをしたけれども、地域の核となって問題を拾い、解決する役割は現在に至るまで欠落している。このような事例から地域委員会を設立するには行政側からもきちっとした方向性を出した方が良い。

委員 提言としてはそうだと思う。組織をどうするかという点については、相談に行きやすいものが良いと思う。自治会の会長は順番で回ってくるが、何をして良いのかわからない。そのときに相談できる場所として地域委員会があると良いかと思う。現状では、経験がある人に聞いたり、市役所に行って聞いたりしている。知り合いがいないとできないという状況をなくすために、地域委員会を置くと考えると良いのではないか。

委員 提言の中でガイドラインを出した方が良い。予算提案権を付与した場合、600万は高い。半額ぐらいでやった方が良い。予算はもちろん、定員なども提言した方が良い。

委員 自分の地域を中心に考えることになるが、今ある組織を使った方がうまくいくだろうという思いを持っていた。コミュニティセンターの人に話を聞くと、場所を作ったのは良いという話が出る一方で、その運営を担うのは自分たちではないという話も必ず出る。多摩市としては、拠点として機能し、住民にも協力をしてもらうという池田市のようなものを、コミュニティセンターを中心にゆるやかな多摩市独自の委員会組織を作るのが良いかと思う。ただ、それは常に組織としてあるのではなく、課題があったときに会議を開くというような組織でなら現実性があると思う。ただ、今すぐ作って反発がないかというところとわからない。目的等をしっかりと説明して、希望するところで実施するというのが良いのではないか。

委員 コミュニティセンターという箱物をうまく使う必要がある。拠点があるから集まりやすい。課題があってもどこにもっていくかわからないというのは良くない。急いで作って良いものは出来ない。制度だけ作ったから良いというわけではなく、作る時にはその役割や機能を明確にした方が良い。ただ、しっかりしたものを作ることでもうまくいく場合もあるかと思う。その上でも、多摩市でしっかりしたものを作ったらどのような団体から反発が予想されるか聞きたい。提言として、いくつか選択肢を出すという方法も考えられる。

委員 心情的な問題なので、既存の組織はどこも該当するのではないか。

- 委員 一本にまとめるのか、両論併記にするのかということも検討しないといけない。方向性としては見えてきた。たたき台を作成し、事前にメールで送るので、それを見て1月に集まってもらいたい。また1章、2章の部分をA4に2枚程度でまとめてほしい。3章の部分でどのような項目があるかは、事前に事務局へ送り、次回議論したい。
- 委員 項目としては、1つ目で組織の位置づけ、行政との関係、2つ目で委員のこと、人をどう集めるか、報酬、3つ目が役割・業務、予算編成権、4つ目に事務局が挙げられている。
- 委員 委員は組織の位置づけ。人材は委員、委員。役割・業務について委員・委員。事務局について委員が担当する。藤沢市の視察報告はいつ聞けるか。
- 事務局 いつ行くかは未定。
- 委員 ウィークデーも含めて2つぐらい日程の候補を挙げて、2～3人の委員が近隣市に視察に行ければ良いかと思う。どうしても難しい場合は、事務局の視察報告だけでお願いしたい。
- 委員 今回の分担を1～2枚程度、また各団体へのヒアリングをまとめたものも1～2枚で書いてくるということをお願いしたい。今回出た今後の提言についての意見をまとめて、次回のたたき台としたい。これらの文書は1月7日金曜日までに事務局に出して、それぞれが次回までに確認してくることとする。次回は1月12日(水)18時より開催する。2月は2回開催したい。1回目で1月のペーパーをまとめて、2回目で市長との懇談を行なう。2月の1回目は2月7日(月)18時半から行う。後半は、市長の日程を事務局から各委員へ連絡する。これで、本日の委員会を閉会する。